



日刊薬業

発行所
 株式会社薬業時報社
 東京都千代田区神田神保町2-36
 稲岡ビル ☎101 ☎(265)7751(代)

大阪支局
 大阪市東区道修町4-6-1
 新芝川ビル ☎541 ☎(231)7061(直)

購読料金 3ヵ月9,500円
 半年17,500円 1年32,500円
 振替東京23208番
 (日刊,但し土・日・祝祭日休刊)

昭和四十九年六月二十一日(金曜日)第三九三八号

総額三十三億五千万円

薬務局 前年度比59%増の予算要求

薬務局では五十年年度予算要求をめぐる、第三次局議を十九日開き、重点要求事項を決め二十五日に重点事項について会計課長に説明、七月二日には総額の要求について同様の説明を行う。重点項目では局を総合した医薬品開発研究費、流通近代化対策費、医薬分業推進費、GMP対策費、薬効安全性調査費などが目立つとともに国立衛試では前年度の三・七倍の予算要求。薬務局予算要求は現在のところ総額で三十三億五千万円(前年度比五九%増)、国立衛試は約三十七億円(同三・七倍)で、重点事項は次のとおり。

- ① 医薬品開発総合研究費 一億五千万円、新規、注射剤の安全性、水痘ワクチン、抗B型肝炎人免疫グロブリン、インターフェロン(新免疫物質)、鎮咳剤(合成麻薬)、薬物ショック、など九つの研究費
- ② 医薬分業推進費 一千七百万円、検査センター補助金九百万円、薬局等実態調査費二百万円のほか、新規に分業PR費五百万円、薬剤師研修費百五十万円
- ③ 医薬品流通近代化対策費 一千四百万円、医薬品産業実態調査費四百万円のほか新規に共同配送、共同倉庫のあり方を検討する流通問題懇談会の設置とディテールマン実態調査費の一千万円
- ④ GMP対策費 一千百万円、新規、指導員研修費百九十万円、GMPハンドブック作成費二百八十万円、製造所構造管理改善調査費六百万円、指導講習費百五十万円
- ⑤ 薬効・安全性調査費 五千五百万円、再評価、副作用対策の経費増額はじめ新規に副作用情報処理システム化費七百万円、副作用発生瀬度調査費一千万円
- ⑥ 血液対策費 二千三百万円、新規に献血推進員地域組織設置費一千七百五十万円、血液研究所設置準備費五百七十万円
- ⑦ 麻薬覚醒剤対策費 三億七千万円。

(第二面に続く)

薬務局予算要求

新規化粧品原料規格など

薬務局関係の五十年年度予算要求重点事項のほか新規項目では、①毒劇物指定調査費六百二十万円②JAPIC(日本医薬情報センター)からの情報提供費四百六十万円③化粧品原料規格基準作成費二百七十万円④医療用具の日本工業規格作成費二百二十万円⑤医薬部外品品質基準作成費千七十万円等がある。また国立衛試では医薬品、化学物質、食品添加物などの安全性を処理する安全センター設置十六億円(設置場所は横浜市と交渉中)と特別研究費八千万円などがある。

斉藤厚相に判定後措置で要望

日薬連 一変手続きと市場混乱回避

日本製薬団体連合会(鈴木万平会長)の代表は二十日午前、斉藤厚生大臣宛に「医薬品再評価判定結果に関する要望」を提出した。これは、判定結果に関連して変更を要する医療用配合剤、一般用医薬品の変更手続きの簡素化、市場の措置について配慮してほしいというもので、要望の骨子は次のようである。①一部変更申請手続きについて再評価に関連して、処方、用法・用量などの変更を要する医療用配合剤、一般用医薬品については、一部変更申請など手続きの簡素化をはかられるとともに、可及的すみやかに承認されるようおねがいする②市場品の措置について再評価単味剤の薬効再評価判定結果に基づき変更を必要とする市場品につき、流通過程において回収、返品等の事態が生ずる場合は、市場を著しく混乱させるおそれがある。変更品との切換えは業界側として可及的すみやかに処置するので、市場品回収の措置は避けていただくよう特別の配慮をおねがいする。

埼玉県病薬 総会開き、事業計画を樹てる

埼玉県病院薬剤師会は十六日、伊東温泉・大館館で昭和四十九年度総会を開き、事業報告、収支決算案、新年度事業計画案および予算案など全議案を承認した。新年度事業計画は①会員名簿の整備②会誌発行の拡充③各種学術研究例会の開催④薬剤部長会の開催⑤新規採用薬剤師の研修会開催⑥開局薬剤師の実務研修会開催。新年度予算額は七十七万五千八百六十二円。なお、総会にさきだち十五日夜は、創立二十周年を記念して懇親会を行った。

移転

▽KKマルタケ盛岡営業所Ⅱ盛岡市上堂一丁目一五―五〇、電話〇一九六一―四七―七〇六一番。

栃木県薬総会

佐谷氏、分業推進で零售奨励

日本薬剤師会の望月専務理事は十九日、宇都宮市保健福祉会館で開かれた栃木県薬の通常総会で分業問題について講演し、「日本医師会は技術料中心の診療報酬の確立を目指しており、もはや日医の真意を疑う時期は過ぎている。日医は分業を進めるに当って調剤センターの設置、薬剤師の質の向上、再診料千円等を条件として提示しており、日薬も全力を注ぐ決意だ。分業は単に調剤だけでなく、医薬品試験、医薬品管理、適正供給、情報等を含むものである。また薬剤師が医師にアプローチする場合にはあくまでも学問レベルで対応することが必要だ」と述べた。また引き続き開かれたシンポジウムで東京都薬剤師会の鈴木研一常務が「都薬は店内区分、医療マップ、研修会、備品の整備を四十九年度の方針として進める」と紹介し、日薬の佐谷圭一常務は薬局経営のあり方について「現在の薬局はいきつくところまで行ってしまった。もはや医薬分業の実践以外にない。この方法としてはカルテによる薬歴の調査が患者の信用も高まり、売り上げ増に結びつくと同時に医師の信用も得られるだろう」と述べた。備蓄薬品からんで佐谷常務と鈴木常務は零售が分業に至るまでの過程では有利な方法だと語り①種類が豊富②独自性がある③経済的メリットが大きい④医家向け医薬品が自然にストックされる⑤知識が必要になるため勉強をするようになる⑥等のメリットをあげた。

製薬夏季賞与 五十万円前後の要求額出る

製薬企業における夏季賞与の要求額が出そろい、早くも田辺製薬では妥結をみている。ことしは春闘を経て大幅な昇給が実施されたこともあり、組合員一人当たり平均が五十万円前後の要求額となっている。第一次回答が出たところもあるが、これから交渉のヤマ場で、支給日は例年どおり七月十日前後となる模様。主なメーカーの要求額は次のとおり。▽武田薬品Ⅱ四十七万円(三・六六か月)▽塩野義製薬Ⅱ四十六万六千円(三・八一か月)▽藤沢薬品Ⅱ四十五万一千二百二十四円(四か月)、一次回答は四十一万四千六百五十六円(三・六五か月)▽大日本製薬Ⅱ四十七万三千円(三・九か月)▽田辺製薬Ⅱ四十二万円(三・七八か月)で妥結▽三共Ⅱ五十二万二千二百十二円(四か月)▽第一製薬Ⅱ四十七万二千元(三・八三か月)▽エーザイⅡ五十五万五千八百円(四・五か月)プラス一律一万二千元)▽山之内製薬Ⅱ四十八万九千八百円(四か月)▽中外製薬Ⅱ五十四万七千六百円(四・三か月)プラス一律二万円)▽科研化学Ⅱ四十七万七千四百五十六円(四か月)▽東京田辺製薬Ⅱ四十八万三千四百円(四・四か月)▽科研薬化工Ⅱ六十五万五千八百十三円(五・四か月)。

中国卸連総会 会長に高橋大作氏を再選

中国医薬品卸連合会は十五日島根県玉造温泉で定時総会を開き、役員改選でプロック長（会長）に高橋大作氏（広島・成和産業社長）を再選した。副会長には長谷川博氏（島根・王水堂薬品社長）、理事には斉藤輝夫（岡山・林薬品専務）、枝広省三（山口・常盤薬品社長）、稲田松太郎（鳥取・稲田薬品社長）がそれぞれ選任された。なお、これまで中国五県はいずれも卸協同組合で運営されてきたが、本年度からは山口・鳥取両県はともに卸協会に改組され、両県とも会長が新任された。

独自商品「ユニオンバン」新発売

大阪薬種商協組 シャンプーなど後続品も企画

業 薬 刊 日

(第三種郵便物認可)

大阪府薬種商事業協同組合（端山義男理事長）は、このほどオリジナル開発商品「救急絆創膏・ユニオンバン」を発売、府下の会員店に対し頒布を始めた。同商品の製造元は東和薬品工業Ⅸだが、製造および宣伝・販売など一切の責任は同協組が負っており、ほかにはない「自家製品」となっている。製品の規格はアクリノールつき中寸（一九mm×七二mm）で、梱包の種類は▽A〓十二枚入A価百六十円、B価五十六円、二百四十個入一梱一万三千四百四十円▽B〓三十枚入A価三百三十円、B価百二十八円、二百二十個入一梱一万五千三百六十円▽C〓A〓Bの詰合せ一梱一万四千四百円となっている。同協組では府下千二百人の会員の半分にC一口割当てを目標としていたが、いちおうこの線には達した。なお同協組はユニオンバンに続いて開発商品第二号に「脂肪酸製剤・ユニオンシャンプー」「同・ユニオンベビーシャンプー」を企画しているほか、以降、ハブラシ、浣腸などを発売していく方針である。

塩野義製薬 改良の小児用「ポポンS」新発売

塩野義製薬は六月十九日から小児用「ポポンS」を新発売した。従来のポポンS小粒の処方・品質を改良したもので、その特長は錠剤の崩壊時間がさらに早くなり、したがって一層早く消化管から吸収されるようになっている。組成は一錠中ビタミンA二千国際単位、ビタミンB¹硝酸塩三mg、ビタミンB²二・二mg、ビタミンB⁶二・六mg、ビタミンB¹²一〇⁴ug、ニコチン酸アミド三四mg、パントテン酸カルシウム一〇mg、ビタミンC八〇mg、ビタミンD²二百国際単位を含有。包装・価格は六十錠A価五百四十円、B価三百七十八円。旧来のポポンS小粒は製造中止。価格的には小粒が百五十錠A価六百二十円であったので、約二倍の値上りとなっているが、二錠服用であったのを新処方では一錠服用となっているため実質的には一円弱の値上りにとどまっている。また小売店マージン率は旧来の二〇・二%から三〇%にふえている。

昭和 49 年 6 月 21 日 (金)

(4)

最大の実験用ウサギ生育場が完成

実験動物生販組合(茨城県)

農事法人・日本実験動物生産販売組合(小沢市三郎理事長、茨城県久慈郡里美村字徳田八九五)は、昨年から建設していた実験用ウサギの生育場の第一期工事が完成し二十日関係者を集めて披露した。完成した第一期工事は敷地一万六千二百平方呎にバリアーシステムの生産棟六百十四平方呎、コンベンショナル動物棟五百三十六平方呎洗滌室百四十平方呎、ボイラー室、事務室、焼却炉でBS生産棟では空気調和装置が完備し良質な実験用ウサギの開発と生産を行う。コンベ動物棟は組合員が生産したウサギを収容し十四日間観察して供給する。収容能力は二千頭、空調・暖房設備がある。このほか年内には飼料工場百四平方呎(ウサギ用飼料の研究開発)、公害防止施設として汚水浄化装置を完成させる。総工費一億円以上で、この生育場が操業すれば日本一の生産規模となる。このほか第二期計画として研究棟、無菌ウサギ開発施設、BS棟、第三期計画としてウサギの各種系統保存施設が予定され、全て完成すれば実験用ウサギのセンターといえるものになる。

(第三種郵便物認可)

業 業

局方外医薬品製造許可承認品目

印―特審品目、印―総合
感胃剤、印―生薬漢方製剤
印―解熱鎮痛剤

刊

日

五月十五日(一般用医薬品)

▽せきどめコデンA

▽鎮咳去たん剤(新新薬品工業)▽ハイボラギノール

(同) □桂枝湯エキス散-N(日本粉末薬品) □茵陳五苓散エキス散-N(同) □神秘湯エキス散-N(同) □芍婦膠艾湯エキス散-N(同) □桂枝加厚

傷保護剤(きくや薬品工業)▽セメンエンA

□驅虫

剤(同) □奇応丸(同) □救命丸(同) ▽ビオフェ

ルミン便秘薬

▽下剤(ビオフェルミン製薬)▽ビオ

フェルミン下痢薬

▽整腸剤(同)▽エスエスプロン

錠S

▽鎮咳去たん剤(エスエス製薬)▽エスエス

プロン

▽鎮咳去たん剤(同)▽エスカップ

錠S

▽総合代謝性製剤(同)▽なみだスマリン

錠S

▽眼科用剤(同) □葛根湯加辛夷川芎エキスカプセル

錠S

「マルコ」

▽ネオカイヂ錠

▽整腸

剤(船倉製薬) □岩田六神丸(岩田平九郎) ▽リポ

ビタミンA

▽総合代謝性製剤(大正製薬)▽ニュート

リン

▽混合ビタミン剤(武田薬品工業) □マタタビ

末(山下正巳) □阪本の荅桂求甘湯エキス

・顆粒(阪本製薬) ▽プラセナンド

▽臓器製剤(一丸貿易)

五月二十日(一般用医薬品) □人参湯(顆粒)(東

洋漢方製薬) □四逆散(顆粒)(同) □清湿化痰湯

ん剤(同)

(5)

昭和 49 年 6 月 21 日 (金)

昭和
年
月
日

日本抗生物質医薬品
基準解説
部

予約申込書

送金方法

ご担当名

貴社名

ご住所・郵便番号

A5判・約600頁
定価7,000円 <予約(前金)特価6,500円>
予約(前金)受付期間 6月30日まで
予約期間中に限り送料サービス

なお、詳細については当社拡
張部までお問い合わせ下さい。

予約(前金)申込み受付中

<締切迫る!! 7月上旬刊行予定>

日本抗生物質医薬品基準解説

1974年改訂新版

日本公定書協会 編

日本抗生物質医薬品基準は、44年8月に
制定されて以来、抗生物質製剤の準公定書
として広く活用されてきました。

その後、第8改正日本薬局方が制定され
たこと、さらには試験検査など技術面の進
歩によって、基準改正の必要が生まれたた
め、49年3月に広汎にわたる部分改正が行
なわれました。

本書は、これに基づいて編集された解説
書です。基準本体は総則事項34項目、製剤

総則事項19条、一般試験法24法、1付表か
ら成っており、収載品目は552品目。解説
では八木沢行正先生(日本抗生物質学術協
議会)による新成分三品目—スルベニシリ
ン、リボスタマイシン、ミデカマイシン—
に関する解説が収められています。これは
本書'71年版に収録されていない品目につ
いて追補したものです。前書と併用して
いただきますとご便宜です。

薬業時報社 拡張部

〒101 東京都千代田区神田神保町2-36(稲岡ビル) ☎(03) 265-7751(代)・振替東京48330番
〒541 大阪市東区道修町4-6-1(新芝川ビル) ☎(06) 231-7061(代)